

西之表 市政の窓

第374号／平成6年5月1日発行 ■ 発行／鹿児島県西之表市役所 ■ 編集／総務課秘書広報係 ☎09972②—1111 FAX②—0295



交通安全

「歩行者優先」車を止める。かわいい子どもたちが手をあげて、左右を見ながら、ちょっと不安気に道を渡る。「ありがとうございました」と帽子をとっておじぎする。お互いにうれしい気持ち「交通安全」。(4月14日、種子島地区交通安全協会の指導による立山小学校交通安全教室)

今月号の主な内容

平成6年
1994.5

- | | 頁 | | 頁 |
|----------------------|-----|---------------------------|-----|
| ● デイサービスセンター開設 | ②～⑤ | ● 市職員人事異動 | ⑧～⑨ |
| ● 0歳児の医療費(自己負担分)全額助成 | ⑥ | ● 第8回たねがしまロケットマラソン大会 | ⑩～⑪ |
| ● グッドライダー宣言で安全運転 | ⑦ | ● からいも交流・金田正一講演会 | ⑫ |
| ● 南部・田之脇簡易水道事業完了 | ⑦ | ● 種子島の青年4人ポルトガル訪問・第30回青年祭 | ⑬ |
| | | ● 郷土の新刊紹介 | ⑬ |



▲特老わかさ園に併設、オープンしたデイサービスセンター

◀初めてデイサービスセンターを利用した際の感想を綴った黒田豊矩さん
(81歳・中割十六番)のお便り

デイサービスセンター感想

三月十九日土曜日に立山野木から廻って来た三人の職員のバス出迎えて乗車し二本松古田經由で職員の親切な乗車案内を受けた。久しぶりに逢う友達十三名とお互いの健康を喜び乍らデイサービスセンターに着いた。ま新しい近代的な建物をおどろきの目で見乍ら玄關に入った何と職員のお姉さん達全員がまるで高級ホテルのガイドメイドさんを連想させる玄關での出迎えにびっくりし笑顔で『いらっしやいませ』の第一印象は最高だった。木の香も新しい和室に案内され、お茶を頂き乍ら古市主任のセンターの設備目的等詳細に内容の説明があり男性から順に入浴をした。男性は山下虎重氏が熱のため平田清氏と二人でしたが一寸エッチな話に年甲斐もなく喜びながらお姉さん達から洗髪や背中を流してもらい、愛嬌たっぷりなサービスに感謝と感激で一杯でした。

昼食は栄養士に依る特別献立でカロリーも老人向きとか、とても美味しく全部食べられました。十三人の同僚と職員の皆さんと色々^{よもやまはなし}と四方山話に花が咲き、特に職員の皆さんが私共老人を中心に文字通りの手取り足取りの行き届いたサービス、情熱溢れる豊かな人情味、初めてと思えぬ親近感を覚え感激しました。

午後は職員の皆さんと一緒に室内ゲートボール、輪投げ、モグラたたき、電動マッサージ等軽い運動で体力を試したり楽しい時間でした。

タイミング良く帰宅事前に原口園長の御配慮により郷土出身の大門歌手が二本松の窪田嬢と笑いのやりとりをしながら艶歌二曲を披露し感激しました。十五時四〇分職員の皆さんのお見送りの後髪を引かれる想いで乗車、帰路につきました。

もうデイサービスセンターへ一度足を運ぶ様祈りつつ!!
ありがとうござり申した。

中割 黒田豊矩^{とよのり}



やすらぎの1日で、笑顔と生きがい、健康維持向上に!!

デイサービスセンター

☎②2360

家庭介護を24時間体制で支援します!!

在宅介護支援センター

☎②2361

——待望の在宅福祉サービスが3月から始まりました——

「在宅福祉」

今はまだ聞き慣れない言葉かもしれませんが。しかし、世界でも例のない速さで高齢化社会を迎えようとしている我が国や地方自治体が緊急に取り組むべき大きな課題の一つとして進められているのが「在宅福祉の充実」です。

国の高齢化率は平成十二年（西暦二〇〇〇年）に十六・九%になるだろうと推測されています。しかし、本市においては今年三月末現在で、すでに高齢化率が二〇%に達しており、五人に一人が六十五歳以上という状況に突入しています。

高齢者が地域社会を支える一員として、長寿を喜び、生きがいと意欲をもって暮らせるよう、保健・医療・福祉が相互に連携しながら必要とするサービスを提供できる社会を築くことが今後の大きな目標と言えるでしょう。

このようなことから、本市でも、保健・福祉の向上のため、三月から、在宅ねたきりや、身体の弱い高齢者を対象にしたデイサービスセンターと在宅介護支援センターの業務を開始しました。

この二つのセンターは、特別養護老人ホーム「わかさ園」に併設され、市からの依頼（委託）で社会福祉法人ふよう会（大山蔵理事長）が運営するものです。

デイサービスセンターでは日曜、祝日を除く毎日、二十人を施設に受け入れ、職員七人が給食、入浴、健康チェックなどのサービスを提供します。朝夕の送迎はリフト付きバスで行われ、施設の利用料金は一日八百円。一方、介護支援センターでは、職員二人が家庭介護に関する相談に二十四時間体制で応じています。たとえ障害をもったとしても、また高齢になっても、健康でやすらぎのある生活が送れるような環境の中で、社会活動に参加できる体制を整えていくことが今後の指針とも言われており、今回整備された二つのセンターに対する関係者の期待は大変なものがあります。

開設しておよそ一カ月が過ぎ、業務も極めて順調で登録した八十八人の利用者の評判も上々。センターでは、登録者数百二十人を目標に現在、利用者を募っています。主な

サービス内容は次のとおりで、詳しくは直接ご連絡、ご相談ください。

なお、当施設は鉄筋コンクリート一部二階建てで、延床面積は五百三十三平方メートル（約百五十五坪）。建設費など総事業費は一億八千八百万円（うち国県が、それぞれ七千七百万円、市が二千六百五十万円を負担）。運営委託費は年間約三千三百万円です。

デイサービスセンター

在宅で体の弱いお年寄りの方々を対象にリフト付バスで送迎し、センターで給食や入浴、健康チェックなどのサービスを行います。デイサービスは、ひとり暮らしや要介護者の孤独感をやわらげ、寝たきり防止や機能訓練を行うとともに、介護にあたる家族の負担を軽くすることを目的としています。

●利用できる人……市内に住んでおり、在宅でねたきりや身体に障害のある体の弱いお年寄りで、おおむね六十五歳以上の方。

●利用料金……一回につき八百円（入浴、食事代など）

●利用回数……週一回

在宅介護支援センター

デイサービスセンターに併設された在宅介護支援センターは、お年寄りや身体障害者を介護している家族の相談窓口として介護相談に応じるほか、各種福祉サービスの利用相談を二十四時間体制でお受けしています。

●在宅介護の支援内容……

- ①保健福祉サービスの広報と積極的な利用を啓発します。
- ②民生委員・在宅高齢者福祉アドバイザーを通して要介護老人の実態を把握します。
- ③電話、来所、訪問による介護相談のほか、老人クラブ、婦人会等で出張相談を行います。
- ④公的福祉サービスの利用申請に伴う手続きをお手伝いしながら、利用者の介護要望に対して適切な福祉サービスが受けられるよう対応します。
- ⑤保健・医療・福祉関係機関との連携をはかりながら業務を行います。
- ⑥その他、在宅介護の方法等の指導助言や、介護機器の紹介、使用方法、高齢者向け住宅の増改築に関する相談、助言を行います。



車イスもリフトで楽々



家の近くまでバスで送迎



朝のミーティングでセンターの1日が始まる

午前10:30

健康体操・入浴・機能回復訓練

健康チェック・お茶

利用料徴収

午前9:30

センター到着

午前8:30

送迎バス出発

職員紹介

—— デイサービスセンター7人・介護支援センター2人 ——



デイサービス寮母 春添 文子さん
「来てよかったと思っていただけるよう
精一杯お世話させていただきます」

桶野ミサ



デイサービス寮母
野間 靖子さん

「やりがいのある仕事。いた
わりの気持ちで人生のあかを
落としてあげたいと思います」



デイサービス指導員
古市新一郎さん

「やさしさ、おもいやり
を大切に、あかるい笑顔
でお迎えします」



明るいお風呂場でくつろぐ皆さん



昼食は広々とした食堂で



出迎える職員ら

午後4:00
退園バス出発

午後3:00
お茶・ゲーム

午後1:30 レクリエーション
趣味・野外活動

午前12:00
昼食・休養

午前11:45
ゲーム



デイサービス運転手
橋元 正治さん

「元気な顔をたのしみに
安全運転で送迎します」



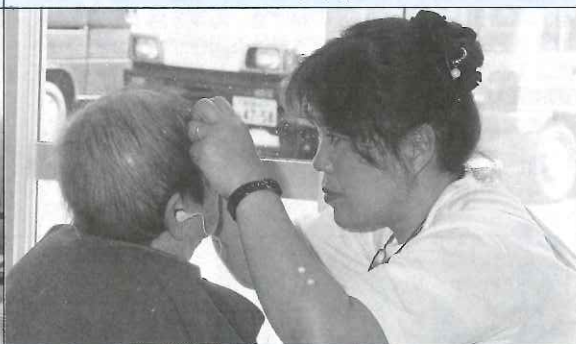
デイサービス介助員
大石 末雄さん

「皆さんのペースで、大
事に介助させていただきます」



デイサービス調理員
鎌田ヒサ子さん

「皆さんに喜んでいただ
けるよう心を込めて調理し
ます」



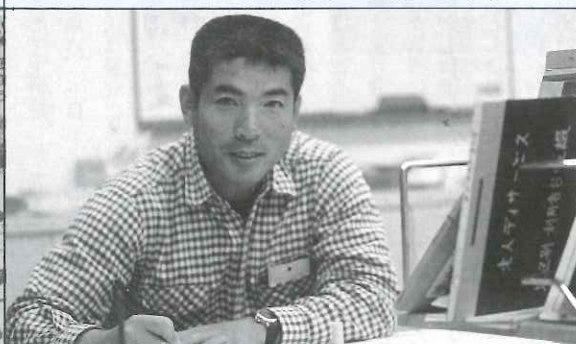
デイサービス看護婦
本川 安子さん

「健康チェックで、皆さ
んの健康管理にお役に立
ちたいと思います」



介護支援看護婦
石坂 和枝さん

「ご家族そろって健康で明
るい家族介護ができるよう
お手伝いいたします」



介護支援ソーシャルワーカー
洲崎 勝之さん

「福祉サービスについてご
相談をいただければ、いつ
でも、どこでも出向きます」

＜乳幼児医療費助成事業＞

0歳児の医療費（自己負担分）は全額助成

乳幼児の健やかな育成を願い、6歳未満の乳幼児の保険診療による医療費（自己負担額）の一部を保護者に対して助成いたします。申請の方法は次のとおりで、いたって簡単ですのでぜひご利用ください。なお、助成を受けるためには受給資格の登録（受給資格者証）が必要です。市福祉事務所で手続きをお願いいたします。

【助成の額】

0歳児：医療費の自己負担分全額
1歳以上～6歳未満児：医療費の自己負担分から3,000円を控除した額（1か月を単位とします）

※各社会保険において付加給付が受けられるときは、その額を控除して助成します。

【助成を受ける手続き】

医療機関で自己負担金を支払った後、助成金申請書に医療機関の証明を受け市福祉事務所に提出してください。

＜児童手当＞

家庭の生活安定と、次代を担う児童の健全な育成、資質向上を目的に、児童を養育している方に児童手当を支給します。

【児童手当の対象者】

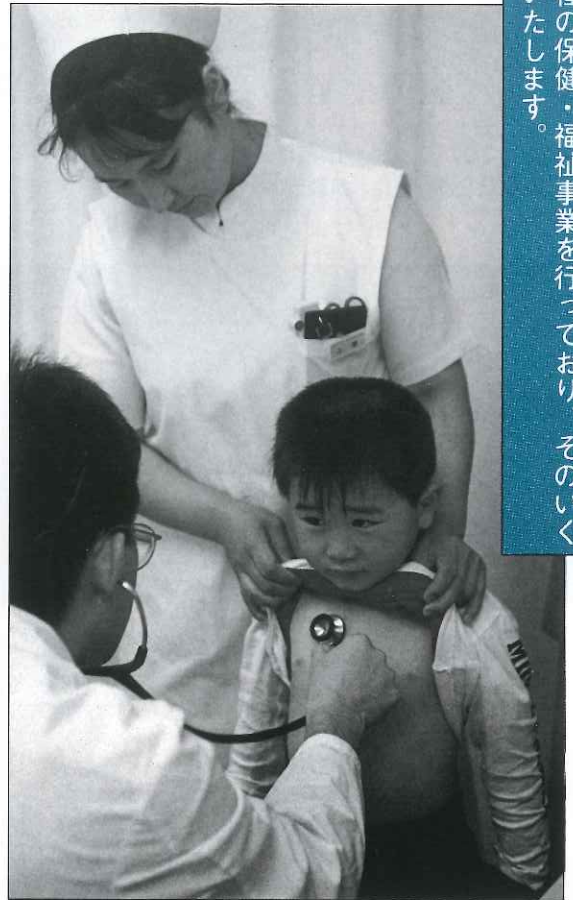
3歳未満の子を養育し、前年の収入が一定の額未満の方

【児童手当の額】

第1子および第2子 5,000円（1人月額）
第3子以降 10,000円（1人月額）

※児童手当を受けている方は、毎年6月中に「児童手当現況届」の提出が必要です。この届けは、毎年6月1日における状況を記載し、手当を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。提出がないと6月分以降の手当の支給が差し止められますのでご注意ください。

問い合わせ先：市福祉事務所児童係 ☎②1111
内線250



これからの社会を担う児童や乳幼児が健やかに成長するよう市では各種の保健・福祉事業を行っており、そのいくつかをご紹介します。

市長
随想

第47回

あること三度

市長
榎本 修

二月十一日、平成六年度予算獲得のためのその日の陳情活動を終えて地下鉄で池袋に向った。座席に座り、書類を背に当て、本を読み出した。夢中で読んでいると終点池袋、慌てて下車。時計を見ると十八時、夕食をするため食堂に入る。食事を済ませ、食堂を出る。なんとなく手持ち無沙汰、ハッと気付く、書類が無い。食堂にもどる、無い。電車の中だ。駅事務所に飛んで行き届ける。親切に対応していただき「終電にならなければ分らない。忘れ物はすべて上野駅の遺失物センターに集め、三日だけ留め置き、その後は警察に送る」とのこと。明日、遺失物センターに連絡する様にと電話番号を覚えていただく。

翌十二日、大雪だ。雪の中の陣情を終えセンターに連絡「有ります」とのこと、ひと安心。上野駅迄出向き書類を受け取る。親切にいただいた皆様に感謝しながら魂をしっかりと入れなければと反省することしきりでした。

十三日九時、羽田発で帰るためホテル七時発。羽田に着いたが、大雪のためダイヤが大巾に変更、十三時出発のこと、仕方なし、今日中に帰られればよいと思っていた。十三時搭乗、一安心して座席に着く、まもなく滑走路に向け出発途中で停止、機内放送、機に小さなトラブル有り、もとにもどり点検すること、がっかり。

一向に出発の気配がない、イライラする。十四時頃、代替機手配のため出発が遅れることの報告があり、うんざり。十五時過ぎ、代替機に乗り替え出発。鹿児島に十七時頃着く、種子島の便なし、鹿児島に一泊、翌十四日フェリー出島にて帰る。散々であった。

人生、色々なことがある。一つ一つを教訓として行かなければならないであろう。然し、昔から「あること三度」と言われている。今回の出張、正しく、その通りであったと思う。悪い事が三度続くよりも、良い事が三度有りますように心から念ずるものであります。

皆んなの悲願「交通事故防止」は、県、県警察本部、各市町村をはじめ、あらゆる機関、団体が一致協力して取り組んでいます。

しかし、本市における交通事故発生状況を見ても、昨年は交通事故が七十二件発生し、

G
グッド
ライダー宣言で

あなたも安全運転を

亡くなった方はいなかったものの傷者八十人といういたましい結果となりました。

交通事故は加害者も被害者も、その結末は実に悲惨です。交通事故の怖さをあらためて認識し、交通マナーを守り、安全運転に徹しましょう。

ところで、近年では二輪車による交通事故も多発しています。県二輪車安全普及協会では、二輪車のG宣言（グッドライダー宣言）を推奨し、二輪車の交通事故抑止に取り組んでいます。

あなたのバイクにはG宣言ステッカーが貼ってありますか。あなたも、二輪車安全運転知識を身につけ、グッドラ



●グッドライダー宣言ステッカー

交通事故発生状況			
平成6年4月15日現在(対前年同月比) ※死者傷者とも発生場所での件数です			
区分	発生件数	死者	傷者
西之表市	20(±0)	0(±0)	25(-1)
中種子町	10(+2)	1(+1)	13(+5)
南種子町	3(-3)	0(±0)	5(-5)
計	33(-1)	1(+1)	43(-1)

イダー宣言で「安全運転」に心がけてください。
■グッドライダー宣言に関する詳しいことは、お近くの二輪車（原付・自）取扱店あるいは県二輪車安全普及協会 ☎0992・61・8966 におたずねください。

嬉しいですね!! 安定給水の運用で福祉増進

南部・田之脇簡易水道事業が完了

市南部の未給水地区を解消するため平成二年度から総事業費六億二千万円を投入して進められて来た南部簡易水道新設事業が平成五年度に完成し、その通水式が四月十九日に南部簡易水道配水池内（古田十三番）で行われました。

十六番、万波、生姜山、千段峯、平松、二本松、番屋峯、十三番、鞍勇および中種子町砂中地区の給水が開始されることになり、これにより、約三七〇世帯、一千人近くの皆さんが文化的生活に最も大切な「水」の安定供給を受けることとなります。

当地区は、平成五年五月より、一部（川脇、大野、芦野、御牧、植松、立山）給水が開始されていましたが、平成六年五月から残りの高山、野木、

一方、田之脇簡易水道の拡張事業も平成五年度に実施され、これまで未給水となっていた浅川の一部を給水区域に



南部簡水配水池で通水栓を開く榎本市長
(4月19日・古田十三番)

取り込み、田之脇、浅川の全地区を給水できるようになりました。

ところで、市ではこれらの事業を実施するため多くの予算を投入してきましたが、このうち南部二億八、三九〇万円、田之脇二、七七〇万円を地方債（簡易水道事業債）で賄ってきています。これは、市民の皆さんに納めていただく国民年金の積立金の還元融資であり、被保険者の生活の向上、福祉の増進に有効に活用するため運用されているものです。しかし、この地方債も、原則として国民年金の保険料納入実績（検認率）が八十五%を下回ると融資が受けられなくなるおそれ（平成四年度八十三・五%）があり、今後の簡易水道整備に大きな影響を及ぼしかねません。市民の皆さんの国民年金に対するますますのご理解とご協力をお願いいたします。

市人事異動

市は、四月一日付けで市職員の人事異動を次の内容で発令しました。
 (◎印は昇格)

課長級

職員名	新所属	(旧所属)
清水 末則	消防長	(建設課長)
松尾 繁	水道課長	(都市計画課長)
森 松雄	農業委員会事務局長	
柳田 泰夫	(種子島開発総合センター)所長兼図書館長	
西村 光政	建設課長	(水道課長)
持田 道哉	(耕地課長補佐兼計画調整係長)	
花里 正茂	農政課長(農政課長補佐兼農産係長)	
鮫島 安豊	都市計画課長補佐兼都市計画係長	
西村 建二	(種子島開発総合センター)所長兼図書館長	
鎌田 卓爾	市民課長	(総務課長補佐兼職員係参事)
長野 学	福祉事務所長	
榎本義一郎	(建設課長補佐兼管理係長)	
西村 寅雄	都市計画課長補佐兼管理係長	
	(財政課長補佐兼管財係長)	

参事・課長補佐級

職員名	新所属	(旧所属)
榎本 東明	福祉事務所次長兼児童係長兼伊関・安城・古田へき地保育園長	
◎川畑 末信	企画課長補佐兼地籍調査係長	(福祉事務所次長兼庶務係長)
◎横浜 宏	総務課長補佐兼職員係参事	(企画課地籍調査係長)
◎下江 信吉	種子島開発総合センター次長	(総務課職員係長)
◎榎元 文俊	教育委員会社会教育課社会教育係長	
◎長深田 稔	保険衛生課長補佐兼国民健康保険係長	
◎濱元 道則	耕地課長補佐兼計画調整係長	(教育委員会社会教育課社会教育係長)
職員名	新所属	(旧所属)
阿世知猛雄	商工水産観光課観光係長	
浦口 安雄	農業委員会庶務係長兼振興係長	(企画課企画開発係長)
河野 博康	総務課秘書広報係長	(住吉保育園長)
上畑 哲郎	建設課維持補修係長	(商工水産観光課観光係長)
	(企画課地籍調査係主査)	

係長級

◎鮫島 彰	財政課管財係長	(財政課主査)
◎鮫島 市憲	教育委員会総務課施設係長	
遠藤 実行	福祉事務所庶務係長	(建設課主査)
山内 光典	企画課企画開発係長	(総務課主査)
榎本 隆	都市計画課都市計画係長	(税務課主査)
野平 道実	農政課農産係長	(都市計画課技術主査)
◎迫田 昭文	総務課職員係長	(農業委員会主査)
◎福元 節雄	教育委員会図書館主査	(総務課主査)
◎本川 逸男	財政課主査	(農業委員会庶務係長兼振興係長)
◎宮園 憲郎	福祉事務所主査	(建設課主査)
◎奥村 学	財政課主査	(教育委員会図書館主査)
◎内田 節生	総務課主査	(福祉事務所主査)
◎長野 次男	都市計画課技術主査	(教育委員会社会体育課主査)
◎原田 和徳	建設課技術主査	(建設課技術主査)
◎竹迫 謙二	水道課技術主査	(耕地課技術主査)
◎木原 浩一	農業委員会主査	(建設課技術主査)
◎前園 正天	企画課主査	(耕地課)
◎榎木 英昭	建設課主査	(保険衛生課)
◎河本 幸男	教育委員会社会体育課主査	(商工水産観光課)
◎阿世知忠美	都市計画課主査	(企画課)
◎青野 実和	企画課主査	(都市計画課)
◎樋口 兼治	選挙管理委員会主査	(企画課)
◎加藤 進一	税務課主査	(選挙管理委員会)
◎山下 清香	税務課主査	(税務課)
◎西田 隆幸	総務課主査	(税務課)

◎寺口 晃 教育委員会学校教育課主査

◎牧 利子 (教育委員会学校教育課) 保険衛生課主査 (保険衛生課)

◎沢柳 純子 (都市計画課) 都市計画課主査 (都市計画課)

◎笹川 美子 (保険衛生課) 保険衛生課技術主査 (保険衛生課)

一般職員

職員名 新所属

下江 順一 企画課

戸川 信正 保険衛生課

中野 哲男 福祉事務所

上妻 敏男 耕地課

河内 尚子 商工水産観光課

沖田純一郎 総務課

宮脇さゆり 総務課

池亀 恭枝 財政課

中里 千秋 総務課

高石 心平 農政課

荒川ひろみ 会計課

(旧所属)

(農政課)

(財政課)

(保険衛生課)

(水道課)

(福祉事務所)

(教育委員会社会教育課)

(市民課)

(総務課)

(会計課)

(税務課)

(財政課)

市立保育園

職員名

新所属

(旧所属)

太鼓 勲 現和保育園長

上畑 敬子 (教育委員会総務課施設係長) 住吉保育園長 (現和保育園長)

山本美智子 (住吉保育園主任・保母) 若宮保育園主任・保母 (住吉保育園主任・保母)

小田原節子 (国上保育園主任・保母) 現和保育園主任・保母 (国上保育園主任・保母)

上妻 茂美 (若宮保育園主任・保母) 住吉保育園主任・保母 (若宮保育園主任・保母)

鈴木るり子 国上保育園主任・保母

(現和保育園主任・保母)

村井むつ代 現和保育園保母 (現和保育園調理員)

内田さえ子 若宮保育園保母 (若宮保育園調理員)

竹迫 京子 住吉保育園保母 (現和保育園保母)



新規採用職員宣誓式 (4月1日・市長室)

市費学校職員

職員名 新所属

(旧所属)

木原やす子 榕城中学校調理員 榕城小学校調理員

小倉 文子 現和小学校調理員 (国上小学校調理員)

長野 久子 榕城小学校調理員 (現和小学校調理員)

宇辰 涼子 国上小学校調理員 (榕城中学校調理員)

新規採用

採用年月日
平成六年四月一日

職員名 所属名

(出身地)

古市 善哉 教育委員会社会教育課

中野 賢二 保険衛生課

下川 法男 福祉事務所

中村 竜二 建設課

原口 晋一 税務課

日高さおり 市民課

長田 英範 税務課

退職者

退職年月日
平成六年三月三十一日

職員名 (旧所属)

三浦 安徳 (熊毛地区消防組合消防長)

東 洋志 (福祉事務所長)

千田 隆司 (市民課長)

今平 信一 (農政課長)

矢野 憲一 (耕地課長)

有富 幸郎 (熊毛地区消防組合警防課長)

梶原 園江 若宮保育園保母 (住吉保育園保母)

松田 孝子 若宮保育園調理員 (若宮保育園保母)

貴島美紀子 現和保育園調理員 (住吉保育園保母)

織田 春美 現和保育園調理員 (国上保育園調理員)

南 真由美 国上保育園調理員 (現和保育園調理員)

平原 春美 国上保育園保母 (若宮保育園保母)

さわやかにロケット路かけぬける

「めざせ宇宙、かける地球人」をテーマに第八回たねがしまロケットマラソン大会が三月二十日、種子島宇宙センターを会場に盛大に開催されました。

純国産大型ロケットH2の打ち上げ成功（二月四日）に沸いたばかりの会場には、大会当日、小雨模様の中、早朝から島内一、八五〇人、そして島外から北海道（一人）、宮城（一人）、秋田（十八人）などの遠来組をはじめ五〇五人が参集。二キロファミリー、三キロ、五キロ、十キロ、フルマラソンの五種目で競技が行われました。

本大会の話題をさらったのが日本マラソン界のホープ、招待選手の山本佳子さんと、仲川栄三さん（ダイエー陸上部）のお二人。

十キロコース（女子）に出場した山本選手は、浅井えり子選手が昨年マークした記録（三十七分三秒）を大きく塗りかえる三十四分五十四秒のコースレコードで優勝。フルマラソンに出場した仲川選手もまた、全国有数の難コースをものともせず二時間二十五分

四十七秒という驚異の記録（これまでのレコードは第三回大会、有川哲蔵選手の二時間二十八分九秒）で余裕のゴール。

一方、本市から出場した皆さん（七六五人）も各コースで大活躍。年代男女別（四十種）で見ると、工藤竜太、原口晴夫、長瀬一志、中園めぐみ、栗田かおり、野平順子、中村幸子、貴島美紀子、尾上美千恵（順不同、敬称略）の九人が優勝の栄冠に輝きました。もちろん、記録にこだわらず友達同志で楽しく参加した若者たち、また、赤ちゃんをおんぶして菜の花ロードを完歩したファミリーなど、マイペースで大会を楽しむ姿もまたロケットマラソンならではの光景でした。

種子島火縄銃の号砲でスタートし、壮大な宇宙センターにゴールする夢とロマンあふれる「種子島の一大スポーツイベント」ロケットマラソン大会」をこれからも島内外に広くアピールし、島民総参加で更に大きく育てていきたいものです。



3 km コース



10 km コース



3 km コース



5 km コース



2,355人

大会成績

種目別優勝者および本市の
上位入賞者

●コース男女別最高タイム

男子

女子

2 km ファミリー 598人

3 km コース 886人

小学生①中種子町	徳 昭洋	11分26秒
②西之表市	野平 隆二	11分28秒
中学生①鹿児島市	瀬戸口明浩	9分44秒●
③西之表市	船元 聡	10分57秒
29歳以下①西之表市	工藤 竜太	10分35秒
②西之表市	佐久間純一	11分00秒
30歳代①川内市	中俣 正美	10分38秒
②西之表市	雪丸 堅	10分42秒
40歳以上①西之表市	原口 晴夫	10分54秒
③西之表市	砂坂 春義	12分58秒

①西之表市	中国めぐみ	12分12秒
②西之表市	前田 祥子	13分16秒
①伊集院町	榎園由香里	11分39秒●
③西之表市	山下 真理	12分47秒
①西之表市	栗田かおり	12分36秒

①西之表市	野平 順子	13分04秒
-------	-------	--------

①中種子町	徳永 朝子	14分42秒
③西之表市	深田タキ子	15分50秒

5 km コース 273人

中学生①西之表市	長瀬 一志	17分09秒●
②西之表市	村田 智秀	18分15秒
29歳以下①川内市	酒匂 洋一	17分19秒
③西之表市	沖田 秀和	20分04秒
30歳代①中種子町	木場 浩一	18分21秒

40歳代①伊集院町	大内山 久	18分01秒
③西之表市	栗田 光一	20分40秒

50歳代①加治木町	河野千太郎	18分28秒
60歳以上①鹿児島市	稲子 昭	23分07秒

①鹿児島市	村田智恵美	21分15秒
②西之表市	武田みちる	23分38秒
①西之表市	中村 幸子	20分38秒●
②西之表市	上妻 絹江	25分17秒
③西之表市	古元 春美	26分31秒
①伊集院町	尾立 幸枝	24分05秒
②西之表市	小倉紀美江	24分50秒
③西之表市	鈴木るり子	28分49秒
①垂水市	向田佐恵子	31分17秒
①屋久町	中村千代子	29分25秒

10 km コース 168人

29歳以下①東串良町	立迫 俊秀	33分27秒●
③西之表市	原口 洋志	35分48秒
30歳代①宮之城町	小村 紀昭	35分31秒
③西之表市	原田 浩一	44分15秒
40歳代①鹿児島市	中川 正孝	34分19秒
②西之表市	下江 和秀	40分54秒

50歳代①鹿屋市	駒崎 和男	39分43秒
60歳代①熊本県	柳 善次郎	47分00秒

①ダイエー	山本 佳子	34分54秒●
-------	-------	---------

①西之表市	貴島美紀子	41分19秒
②西之表市	芝 美鈴	48分13秒
①広島県	佐藤 郁子	41分04秒
②西之表市	押川 紀子	41分25秒
③西之表市	鮫島みちる	50分12秒
①北海道	山田 道子	54分50秒

フルマラソン 430人

29歳以下①ダイエー	仲川 栄三	2時間25分47秒●
30歳代①熊本県	河田 透	2時間30分36秒
40歳代①鹿児島市	外園 幸一	2時間45分16秒
③西之表市	津曲 健一	3時間09分49秒
50歳以上①神奈川県	金井 靖雄	3時間09分33秒
②西之表市	戸畑 和巳	3時間19分09秒

①鹿児島市	上野 洋子	3時間29分04秒●
①西之表市	尾上美千恵	3時間52分09秒
①上屋久町	新出 初美	3時間45分50秒

①神奈川県	熊田 豊子	3時間59分21秒
-------	-------	-----------

第8回 たねがしま ロケット マラソン大会



留学生の3人(左からリュウさん、ティさん、ヴィレリーさん)



実り多い、からいも交流、末永く

3人の留学生を迎え 古田・中割・野間で開催

今年で四回目を迎えた「からいも交流イン種子島」が三月十五日から二十六日までの十二日間、古田と中割、そして中種子町で行われました。「からいも交流」は日本にいる留学生を農村社会に迎え入れ、異文化交流で地域活性

と意識改革をはかろうと本県を中心に毎年開催されており、この十三年間で五十五か国、一、六五六人の留学生が参加。今年は一〇三人の留学生を六市三十町が招き、種子島へはティ・ブン・チョウさん(20歳・マカオ・男性・創価



トッピーターミナルで留学生を出迎える受け入れ家庭の皆さん

大学留学中、ヴィレリー・ボネーさん(24歳・フランス・女性・中央大学留学中)、リュウ・カ・カさん(20歳・香港・男性・創価大学留学生)の三人が来島。それぞれ、栗田由一さん(古田番屋峯)、奈尾正友さん(中割千段峯)、梶屋勇人さん(中種子町野間)の家庭がホスト・ファミリーとして温かく迎えました。

留学生の三人は、受け入れ家庭での交流はもちろん、地域の小中学校や校区民との交歓、また、島内観光やお茶摘み、田植えなど農作業も体験しました。

主催した「からいも交流実行委員会」の濱島祥三郎さん(古田中之町)は「日本の伝統文化や生活を体験したいと希望する留学生。それを受け入れた家庭と地域。この新しい出会いで得たものは、お互い想像以上に大きかったようです。この実り多い交流を島内では数少ない国際交流のチャンスとして末永く続け、更にひろめていくために、皆さんの一層のご理解、ご支援をぜひお願いします」と語っていました。

親の恩を忘れたらアカン!!

野球評論家 金田正一さん招き経友会講演

プロ野球評論家の金田正一さんを講師に迎えて三月十八日、かぎん種子島経友会主催の公開講演会が市民会館ホールで行われました。

金田さんは昭和八年に愛知県に生まれ、享栄商業高校卒業後、二十五年に国鉄スワローズ(現ヤクルト)に入団し、四十年巨人軍に移籍。四十四年に現役を引退するまでの間

豪速球投手として登板数九四四回、十四年連続二十勝、通算四〇〇勝、奪三振四、四九〇個、完全試合一など数々のとてつもない記録を樹立。引退後はロッテオリオンズの監督に就任し、四十九年パリーグ優勝、日本一を成し遂げ、六十三年には野球殿堂入りを果しました。

「人生の目標をもって、そして挑戦しろ」と題した講演は、乏しかった少年時代から、血のにじむ猛練習を重ねた野球一筋の半生を綴った人生談義。途中、野球界の裏ばなしや「親の恩を忘れたらアカン」といった人生訓を語る場面もあり、集まった皆さんは屈託のないおなじみのカネやん節に引き込まれていました。



種子島の青年四人ポルトガルへ

西之表の小・中・高生の絵画・習字で文化交流

日本ポルトガル友好四五〇周年を記念して、ポルトガルとゆかりのある鹿児島、長崎、大分、徳島の四県の市民五人ずつ、計二十人が三月十九日から二十八日までの十日間の日程でポルトガルを訪問しました。

これは日本ポルトガル協会



鹿児島からの派遣団員を歓迎するヴィラ・ド・ビスポ市の皆さん

が「草の根交流事業」として企画・主催したもので、鹿児島から参加したのは、名越恒樹さん（30歳、西町）、錨忠宏さん（25歳、上之原町）、日高知範さん（22歳、中種子町）、中村勇さん（26歳、南種子町）、そして吉村博幸さん（34歳、県国際交流協会、鹿児島市）の皆さん。

四県からの派遣団二十人は三月十九日、東京で結団式を行い、翌二十日に空路でポルトガル入りしました。首都リスボン市内を視察した後は、各県ごとの姉妹都市へ向かい、二日間にわたり交流。

本市の姉妹都市ヴィラ・ド・ビスポ市を訪問した本県の五人は、まず、ポアベントウーラ新市長を表敬し、文化交流の一環として西之表市の小・中・高生の絵画や習字など約九十点を贈りました。また、種子島で揃えた品々をビスポ市民に即売し、益金を同市に寄付するなど数々の楽しい企

画で市民交流を展開。

こうして二十五日まで姉妹都市で親交を深めた一行はリスボン、パリ経由で二十八日無事帰国しました。派遣団の皆さん、ご苦労様でした。

なお、今回のポルトガル訪問の詳しい模様については、近く本紙で連載する予定です。レポーターは派遣員の皆さんです。ご期待ください。



第30回 青年祭

市連合青年団

夢をあきらめないで若者よ集え!!

市連合青年団（大河嘉一団長、五十三人）による第三十回青年祭が三月十二日、市民会館ホールで行われました。

「夢をあきらめないで」をテーマに舞台では国上と榕城の青年団員が意見発表を皮切りに創作劇や舞踊、のど自慢を披露。特に「RUN」三年間を振り返って」と題した竹之内正明さんと錨忠宏さんの意見発表は、信念を持って郷土で力強く生きる若者の姿がうかがわれ、また、榕城校区青年団の演じた創作劇「長男の選択」はアドリブ混じりで笑いを誘った舞台ながら、島での生活を希望する若者とその家族の心の動きが生々しく描写され、会場をうならしていました。

大河団長は祭典の後、「少ない団員ですが、日頃考え悩んでいることをストレートに舞台上に表現しました。多くの島の青年たちと夢をあきらめないで前進していきたい」と若者の結集を呼びかけていました。

（写真は創作劇「長男の選択」を演ずる榕城校区青年団の皆さん）

左から：池田まどかちゃん（3歳）
ひとみちゃん（1歳）、大樹くん（4歳）
父：敬 母：フサ子（湊泊）



左から：榎元ミツ子さん（洲之崎）
牧瀬シズエさん（朝日が丘）



この人にSPOT

No.50



西之表保健所の新所長に着任

吉田 量 光さん（52歳・西之表保健所長）

昭和39年7月から30年間の永きにわたり熊毛地域の保健医療の向上に尽くした上妻昭夫所長の定年退職により、4月1日付けの県定期異動で西之表保健所の新しい所長として着任。前任地は加治木保健所（所長）で、勤務地としての離島は今回が初めて。

「種子島は、とにかく広く、生活面からも島という感じを受けません。まちの機能も都会並みと言っていいほど。おだやかな丘がつらなり、緑豊かな土地柄がさっそく気に入りました。屋久島保健所に所長が就きましたので、兼務がなくなりました。これから種子島の実状を詳細に把握して、地域の保健福祉の充実に努めたい」と語る。

鹿児島大学医学部卒業。大分県三重町出身。

人口の動き（住民基本台帳）

平成6年4月1日現在（前月比）

総数…20,053人（-461）

男…9,588人（-251）

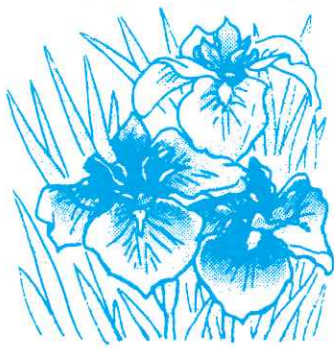
女…10,465人（-210）

世帯数…7,726世帯（-127）

市の面積…205.70km²

小山田	前園	石元	河野	唐鎌	岩元	榎本	濱田	三窪	中村	日高	小倉	馬場	日高	小川	山下	古田	出生児
彩乃	佳乃	愛乃	美咲	由衣	洋兵	節子	観加	秀太	秀樹	侑奈	穂乃	愛理	彩佳	茜	恵加	曉人	保護者
一夫	正義	宏和	光雄	康守	覚	澄徳	健孝	俊郎	秀昭	聡	政人	至	浩	勝	秋広	清博	住所
上石寺	若宮	中西	庄司浦	近政	美浜町	伊関	西町	榕城中	上石寺	野木平	野木平	横山	形之山	武部	中西	沖ヶ浜田	

うぶごえ
おめでとう



うぶごえ・ごめいふくは
三月中の受付け分です。

深田	織田	榎本	江口	井元	岡村	川原	遠藤	濱山	沖田	東	瀬崎	種子	氏名
與助	市郎	繁盛	泰助	伊三	正信	サチエ	アサ	繁美	貞雄	國清	仙志	田ハルミ	年齢
80歳	87歳	80歳	93歳	87歳	68歳	76歳	88歳	53歳	76歳	90歳	70歳	89歳	住所
浜之町	村之町	現和之下町	今年川	西町	二本松	納曾	現和上之町	榕城中目	沖ヶ浜田	立山	下能野	川氏	

ごめいふくを
お祈りします

リレーふるさとを想う 45

私は、松島本城に川野家の五女として昭和十五年一月十九日に生まれました。大家族で、衣・食の方は大変でしたが、心豊かな環境の中で、厳しく優しく育てられました。

ように帰りました。東京に魅力がないわけではなかったのですが、子供の頃の強烈な思い出に勝るものはありませんでした。子供達が引いた芽を親達が直径十五厘位の綱に練りあげその綱で上・下に分かれて賑やかに競った十五夜の晩のことは今でも鮮やかに蘇ってきます。また、洲之崎海岸で時間を忘れるくらい興じたミニ取りや、兄と椿の実を集め椿油にした時の母の喜び、そして西

年始めに、栃木の五女(私・写真右端)の家族をたずねた母(川野ミヨ、84歳・松島)を囲んで



横田 泰子さん(旧姓：川野)

(現住所：〒329-05 栃木県下都賀郡石橋町 下長田312)
電話：0285-53-6879

出身地：松島

町・東町・洲之崎と一軒一軒花束を売り歩いたことなど、数々の思い出の宝庫、大好きな西之表です。

昭和三十四年に結婚、主人の生家のある栃木県宇都宮に半年、県南壬生町に三年、横浜市に九年間在任し、その間二男一女を儲けました。

やと都会の生活に馴れた頃、亦々栃木県へ、県内を三回転居しやと現住所へ安住、十五年になります。

一方その傍らで、父七十四歳、舅八十四歳、そして亡くなる前の四年間は、私を母と思ひ込んで甘えていた姑も八十八歳で身罷った。

現在の石橋町へ引越して一年目、健康づくりのモデル地区指定を受け、保健推進委員になりました。

町の保健婦さんから、心と体の健康づくりにと勧められたのがきっかけとなり、紙ひも細工の研究を始めました。

資料がありませんでしたので、幼い頃父がわら仕事・竹細工・木工と生活道具を巧みに作っていたことを想い起しながら独自で、花器、帽子、小物入れ、ティッシュケース、

脱衣かご等々、芯の割り出し、編み方等を図面にし、簡単なテキストをつくりました。

紙ひも細工は、手を切る心配がなく、材料費も安く、こたつに入りながらでもできること、そして何より手先を使う作業なのでお年寄りににも人気があります。

お年寄りの健康づくりを頼まれ、はじめた紙ひも細工でしたが、昭和六十二年十月に栃木県ふるさと名人に認定されました。

平成二年五月、新宿で行われたマロニエフェスティバルにおいて実演も致しました。

町の公民館講座も十周年を迎え、その輪もひろがりを見せています。秋の産業祭には会員の創意をこらしたさまざまな作品が並びます。

隣の農協婦人部の月二回の教室も二年目になりました。現在では会員も四十歳から

八十歳代と年齢層は幅広いですが、みんな簡単そうで難しいと言いつつ、一つ一つ丁寧に完成させています。

「テレビドラマを見ていても『あの花瓶、すてきな形ね』なんて、すっかり好奇心が強

くなっちゃって」とある会員。頭で考え、手先で作る。無理せず、自由に、楽しく、会に集うお年寄りたちは生き生きしています。

我が家では五歳の孫にせがまれ、カップやお猿さんを作ったりしています。

みなさんの作品づくりに取り組み時の真剣な眼差しと、笑顔を見れるのが私の生甲斐です。

活動状況が「家の光」に紹介されたこともあり、ますます忙しい日々を送っています。望郷の念は募るばかりです。

自然豊かな種子島、人情味溢れる種子島に生れたことに誇りを持ちながら、これから生きていきたいと思ひます。

最後になりましたが、西之表市の限らない発展とみなさんのご健勝を心からお祈り致します。

次の「ふるさとを想う」は東京都東村山市にお住まいの長野彰さん(59歳・住吉中ノ町山身)にご登場いただく予定です。お楽しみに。

石ノ峯界隈(一)

郷土史家・平山武章さん

榕城湾には甲女川の他、安徳川、綿打川、玉川、矢尻川、井ノ川などの小河川が流れ込

み、小丘陵ながら複雑な地形を見せている。それだけに、歴代島主が何処に居を定めた



▲市街地を眼下に、海拔20mの丘に広がる石ノ峯には、写真中央の左から、熊毛支庁、栖林神社、市民会館、市役所が立ちならぶ。(ホテルニュー種子島屋上から撮影)

かは興味のあるところだが、とくに五代あたりまでは杳としてわからない。十代たるべき雄偉の十八歳の三郎は馬毛島で謀殺され、島主の座についた幡時は熊野信者として居所を定めなかった。そして十一代時氏は細島の生れ、古田の飯屋で成長した。

此の間、三郎を供養する為に納曾台地の南側低地に大会寺が建てられ、幡時の弟、喜道が住持となった。

さて、元服後の時氏の住居は何処だったのか。これは私の見解であるが、はすし(蓮)が池の北側、いわゆる井ノ上だったのではあるまいか。だからこそ、日蓮宗に転じた時氏が本源寺の寺地を、石ノ峯の南端、井戸の近くに定めたのである。この石ノ峯は、宗蓮寺川(玉川)の開析部から北に走る火成岩(熊毛御影)の露頭のことで、現在は熊毛支庁、市民会館、市役所がある、市行政の中枢。当時は石ノ峯の北には家老組の上妻氏、その東側には矢張り家老組の西村氏の屋敷があり、その南側の林の一部は種子島家の墓地と西村家の墓地があるだけ

だった。

時氏は母方の黒木一族には国上の土地を与え、母(法名・妙長)とその世話人の岡留氏には新たに宅地を開いて住居を建てて住まわせた。これが新屋敷だったと考えられ、時氏自身も其処で生活したのではあるまいか。

本源寺の七堂の配置は不明だが、十二代忠時が京都留学を終えて帰る時、小笠原流の宮中の始式に精通した武田光長を家臣に加えたことから、これを種子島の年中行事とし、その為に本源寺に射場を拵えた。その場所は、家譜の松寿院時代「本源寺射場の故地に



▲写真左隅が種子島氏の井ノ上館で、その地名縁起となった井戸が正面にあり、その北側に犬ノ馬場への切通(せつとう)の階段が見える。

栖林権現宮を奉建。広さ二百五十坪」とあるからである。

この神社には、明治二年の本源寺の廃毀の後、歴代の御神位、並に高祖四神位を合祀とある。この四神位は不明だが、私は桓武帝の皇子の高望王、清盛、基盛、行盛の霊位ではないかと思う。この社殿は大正十三年一月、西之表町市街地の大火で類焼したが、場所は現在の熊毛支庁長公舎のある場所、のちの萬徳寺の寺地を含めて、西に安土があったことは想像に難しくない。現在の道路は其の参道として拵えられたものであった。

'94フレッシュ種子島 ただいま募集中!!

種子島観光連絡協議会では、まつりの華、観光イメージアップに活躍していただく「フレッシュ種子島」を募集しています。自薦、他薦を問いませんので、どうぞご応募ください。

▼応募資格…種子島に居住している18歳以上（平成6年4月1日現在）の未婚の女性。
▼締め切り日…6月30日（水）
▼審査の日時、会場…申込書受付後に、文書にて通知します。

▼審査の方法…応募者の中から各市町観光協会で、それぞれ一名の「フレッシュ種子島」を選出し、後日、認定します。

▼賞金…認定時5万円、終了時5万円、その他副賞。なお推薦者には記念品を贈呈します。

▼その他…フレッシュ種子島の皆さんは、各市町のまつりのパレードをはじめ、大阪府堺市の「堺まつり」のパレードに参加するほか、一年間における島内外の観光宣伝事業

に参加していただきます。なお、各事業に参加するための制服等は主催者側で準備します。

▼申し込み、問い合わせ先…市商工水産観光課観光係 ☎ 21111 内線 287

計量法が改正 届出は10月31日までに

計量法の改正により、これまで検定、検査（定期検査）対象外で取引、証明に使用されていた電気抵抗線式はかりでひょう量が30kgを超え2t以下のもの、および光電式はかりでひょう量が30kgを超えるものをはじめ、誘電式、電磁式はかり等の電気式はかりが新たに検定、検査の対象と

なり、平成5年11月1日から検査が義務づけられました。しかし、経過措置として平成5年11月1日の「新計量法」施行以前から所有し、今後も引き続き取引、証明用として使用される場合は平成6年10月31日までは検査は行わず、またこの日まで知事に書面により届出をしなければなりません。

なお、届出が期日までにされないとい、平成6年11月1日以降は使用できませんので必ず届出を行ってください。届出および詳細については次までお問い合わせください。

▼問い合わせ先…市商工水産観光課商工係 ☎ 21111 内線 270

市税は市政推進の
貴重な財源です!!

市税は納期内に 必ず納めましょう

—5・6月の納期限—

5月2日（月）

軽自動車税（全期）

5月31日（火）

固定資産税（1期）

6月30日（木）

市県民税（1期）

人権を守って 明るい社会に

人権は、人間が平和に生きていく上で最も大切な権利です。自分だけでなく、あなたも私も、みんな人権が尊重されなければなりません。

昭和24年6月1日に人権擁護委員法が施行され、民間人による人権の番人の機関が誕生しました。全国人権擁護委員連合会は6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、この日を中心に人権思想の啓発に努めています。

法務大臣が委嘱した本市の人権擁護委員の皆さんは次の方々です。相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

▲本市の人権擁護委員▼

○荒木 政雄さん

（榕城西町③2553）

○長野 昭さん

（住吉中之町③8264）

○江口スワ子さん

（国上野水平⑧1188）

○榎本 和枝さん

（榕城中野②1417）

○木原 節郎さん

（現和武部⑤0040）

5月23日 行政相談所開設

今年も5月23日（月）、行政相談所が市民会館内に開設されます。

行政相談委員は全国の市町村に配置され、市役所などが行っている仕事についての相談に対して直接助言をしたり、関係機関に通知、照会した結果を回答したり、皆さんの身近な行政相談窓口となっています。

行政相談委員は総務庁長官が特にお願ひして、皆さんの相談相手となってもらっている民間の有識者で、自宅や電話でも相談に応じています。相談は無料で、秘密は堅く守ります。また匿名の取り扱いは行っていますので、お気軽にご相談ください。

▲本市担当の行政相談委員▼
吉留 重さん
（下西川迎②1507）

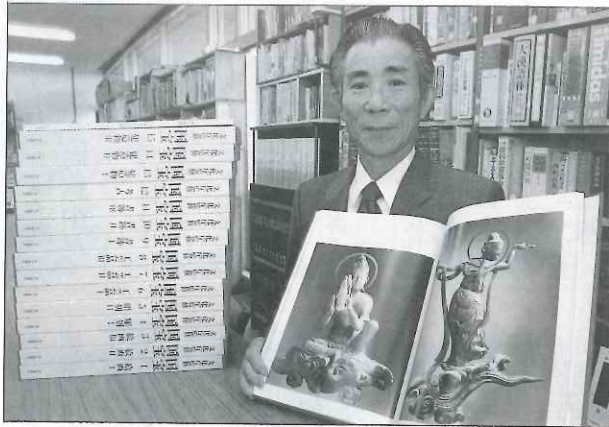
▲行政相談所開設▼
日時…5月23日（月）
午前9時～午後4時

▲会場…市民会館

◆おしえて：種子島の民謡・子守り唄を歌える方をおしえてください（市政の窓 ☎ 21111）

定年退職記念に
濱口喜永さん(湊泊)

「国宝」写真集を市立図書館に寄贈



▲市立図書館に国宝写真集を贈った濱口さんとその図書
(4月16日、市立図書館で撮影)

下海泊の濱口喜永さんから三月二十二日、市立図書館に国宝解説写真集が寄贈されました。
濱口さんは今年三月、安納小学校長をさいごに教職を定年退職。三十七年間にわたった教員生活を離れるにあたりその記念として「皆さんに活用していただきたい」と贈ったものです。
寄贈された図書は、文化庁監修で毎日新聞社が平成元年に発行。国宝に指定されている建物、彫刻、書籍などの数々を全十五巻に収めた貴重な資料です。
これまでに出版された国宝に関する書籍の中では、企画、内容とも画期的と言われるこの写真集をぜひ皆さんもご覧ください。
なお、濱口さんは、住吉浜之町出身で、市の図書館運営協議会の委員も就めていました。

郷土の新刊紹介

種子島に生まれ、成長した少年時代の思い出は郷里を離れた作者の脳裏から消え去ることはなかった。進行性のガンと闘い続ける病床からふるさと種子島を恋しのふ真心が鮮烈で、感動を呼ぶ遺作。

現代随筆選書145

「星あかり」

著者：笹河一郎

発行：日本随筆家協会 定価1,500円(税込)



書道家中島貞美氏は平成4年、突然病魔に襲われ、翌年2月7日、帰らぬ人となった(享年65歳)。定年を待たずして33年間の教職を退き、書の大道に情熱を注いだ氏の遺作の数々を集大成した本書は正に「書の友」。

中島貞美遺作集「書研」

編者：中島春枝

発行：斯文堂 定価3,500円

▶中島貞美遺作集「書研」出版記念追悼展示会：6月3～5日、市民会館3階

母校の県立種子島高等学校に校長として赴任し、「全国の生徒たちにおくれを取るな」と後輩たちを叱咤激励した校長の講話集。種子島を舞台にした奮起と感動の珠玉編。

「潮鳴り」
—校長講話—

著者：川口伸和

発行：近代文藝社 定価2,200円(税込)



特別減税説明会

日 時：5月27日金午前10時～
会 場：西之表市民会館
問合先：種子島税務署 ☎20442

巡回交通事故相談所

日 時：5月17日火午前9時半～午後3時半
会 場：西之表市民会館
問合先：市役所市民課 ☎21111

3月の青果市況

種子島公設地方卸売市場

入荷量 135.4トン		島内産 64.5トン (47.6%)	島外産 70.9トン (52.4%)	
取引額 3,363万円		島内産 1,720万円 (51.1%)	島外産 1,643万円 (48.9%)	
種 類		入荷量トン	取引額千円	単価円/kg
島内産野菜類	根 菜 類	10.9	629	58
	葉 茎 菜 類	20.1	1,812	90
	果 菜 類	3.4	1,136	331
	そ の 他	16.7	4,271	255
	小 計	51.1	7,848	153
島内産果実類	た ん かん	6.0	1,227	204
	い ち ご	3.6	5,134	1,416
	そ の 他	0.3	43	136
	小 計	10.0	6,404	644
島内産鳥卵・加工品等		3.4	815	
島 内 産 花 類		121千本	2,129	

◎野菜、果物、花類の出荷をご希望の方は種子島公設地方卸売市場(天神町②0216)をご利用下さい。

新 着 図 書

市立図書館
☎21111 内線274

- アンパンマンとめざましくん他 やなせたかし
- NHKおはなしでてこい 竹本 員子
- やさしいおりがみ Kクラフト工房
- たのしいあやとり スタジオKAY編
- パッチワーク教室 佐々木純子
- 病気によく効く魚介類 宗像 伸子
- 暮らしの知性百科 成原昭一郎
- 式辞あいさつ大辞典 講談社編
- 嫁のタメ息 姑のハギシリ 小林千登勢
- 薩摩藩大奥 阿久根星斗

鉄砲館だより 種子島開発総合センター

☎33215 (ミンナミニコ)

※総合センター内の市民作品展示コーナーは入場無料です。お気軽に入館・ご鑑賞ください。

※5月の展示

- 収蔵資料展 5/1～5/24
- 五月ビナ展 5/6～5/24
- 春の山野草木展 5/26～5/30
- 春の写真展(種子島写真会) 5/26～6/26

平成6年	休日在宅医	休日営業スタンド			
5月1日 (日)	井元医院 東 町②0075	有馬石油店 西 町②0121	瀬下石油店 住 吉③3836	川添商店 現 和⑤0810	水口石油店 国 上⑧0007
3日 憲法記念日(火)	田上病院 松 島②0960	全 店 営 業			
4日 休日(水)	池田医院 天神町②0260	全 店 休 業			
5日 こどもの日(木)	多愛病院 中 目③2401	全 店 休 業			
8日 (日)	中目医院 野 首③0350	種子島石油 東 町②1345	徳永石油店 安 城③7379	一口石油店 安 納⑤1111	
15日 (日)	松崎医院 西 町③2455	三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石 堂②1219	内門商店 沖ヶ浜田⑧0291	向江商店 安 納⑤1147
22日 (日)	井元医院 東 町②0075	種子島石油 鴨女町②1347	鮫島石油店 現 和⑤0005		
29日 (日)	田上病院 松 島②0960	市農協第3 松 島③0128	中村石油店 現 和⑤0021	江口石油店 国 上⑧0808	
6月5日 (日)	池田医院 天神町②0260	有馬石油店 西 町②0121	瀬下石油店 住 吉③3836	川添商店 現 和⑤0810	水口石油店 国 上⑧0007
12日 (日)	多愛病院 中 目③2401	種子島石油 東 町②1345	徳永石油店 安 城③7379	一口石油店 安 納⑤1111	
19日 (日)	中目医院 野 首③0350	三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石 堂②1219	内門商店 沖ヶ浜田⑧0291	向江商店 安 納⑤1147
26日 (日)	松崎医院 西 町③2455	種子島石油 鴨女町②1347	鮫島石油店 現 和⑤0005		

⑱ 市政の窓 H6.5

▶ゆずります: 肥料になる牛ふんを無料でさしあげます(中村逸夫さん: 国上中目 ☎80120)



Portugal

ポルトガルへの旅 ④〇

ポルトガルの愛すべき人々②

—文章・地図—
牧瀬正明さん 一東京—



高き鐘塔

今回は趣向を変え観光その他について二、三述べてみよう。

(一)本紙平成四年七月号に於

て疑問としていた書記官は、種子島家譜によると上里肥前守である。これを更に徳永和喜著「種子島の史跡」に見ると彼は南種子町葦永の上里を治めていた人物で、姓も上里と改め、彼を祀った上里神社もあるという。祐筆とは書記の事である。今鉄砲記に見るポルトガル人の名前は、彼がその職務上直接聴いて記録したものに他ならない。家譜によれば杵寝襲来の際にも防戦に当たった肥前守は、天正14(1586)年7月5日、筑州の筑紫上野助広門を攻むるの時、戦死した。

(二)鉄砲記に現われる紀州根来寺の津田監物丞の最後を岡本健一著「発掘の迷路を行く①」に見つけた。「天正13年3月23日の兵火(秀吉の進攻)で根来寺は、文字どおり灰塵に帰す。津田流鉄砲術の名人、津田監物をはじめ根来衆の精

▲昨年十月、ポルトガル大統領に同行し、種子島を訪れたロサ・モタさん(鉄砲伝来450周年式典で種子島火縄銃保存会の皆さんと記念撮影)

鋭部隊は、すでにその2日前、泉南(大阪南部)の千石堀の攻防戦で玉砕した」

(三)天文12年ポルトガル人と共に来島した大明の儒生五峯とは倭寇の頭目王直であるとの説が一般的である。名前が違うのに同一人物なのはどうしてだろうか。これにアプローチしてみよう。

先ず宇田川武久著「鉄砲伝来」を読むと、当時の中国側文献『日本一鑑』(中の記事「王直の名鑑即五峰」)及び『寧波府志』中の記事「王直即五峰」が同一人物の根拠となっていることが分かる。

次に島村修治著「外国人の姓名」によれば不思議にも中国人には基本的に名前が二つ(名と字)あるようだ。

例(1)孔子(儒教の祖) 姓は孔、名は丘、字を仲尼
例(2)孫文(辛亥革命の指導者) 姓は孫、名は文、字を逸仙または載之。

名と字の関係をこの本に見ると「ほぼ成年に達すると父の命名した名を尊んで、これと別に自身で字を作り、正式の文書以外の記名に字を用いることが多い」とあって、こ

の一連の流れから私は「五峯」とは姓は王、名は直、字を五峯と称した中国人で、種子島に来た時は字(王)五峯の方を名乗った」と一応結論付けてみた。その際は姓は肥前守が書き漏らしたものか?

(四)450周年を記念して更に種子島をイメージアップさせるために、西之表にポルトガル建築による博物館(仮称「モタ邸」)が是非欲しいと思う。

(五)モタ邸建設と並行して進めたいのは、イメージ・キャラクターの採用である。本命はやはり国際的知名度抜群にして種子島との関係も濃厚(?)なロサ・モタであろう。

(六)次には是非欲しいのは市営の観光・住宅兼用城壁都市である。そのモデルとしては、ポルトレグレ旧市街の魅力を知った今、この標高30m、直径100mのポルトガル国でも最小の城壁都市をそう考えない訳には行かないだろう。その町の中心には広場を作り塔をあそこに、美術館はここに……と、どうやら私の夢は止まる所を知らない様だ。

〈馬毛釣人〉

▶おたより: 先の日曜日、多くの西之表出身者が来訪したので、早速「市政の窓」を配布。市政の窓 H6.5 ②〇
価値ある情報に接し、楽しい一刻を過ごしました(瀬川栄志さん: 東京都東村山市)